

平成20年度 第2回「越前市地域公共交通会議」

概 要

日 時：平成21年3月24日(火)14:00～15:45

会 場：越前市市民ホール2階 第3会議室

出席委員：15名(欠席3名)

1. 開 会

2. 会長あいさつ 川上洋司会長

3. 協議事項

(1) 公共交通利用促進について 【資料1】

公共交通利用促進ポスターの作成・配布について
市民バス回数券「お楽しみ券」の特典追加について
運転免許自主返納支援事業の市民バス無料乗車券交付について
CO2CO2(コツコツ)ダイエット大作戦の結果について
以上4項目について、報告があった。

【委員の主な意見】

は中心市街地活性化との連携、 は交通安全、 は環境政策と、公共交通は単なる「市民の足」としての生活交通という部分だけでなく、まちづくりの施策に関係している。こいう多方面の展開に努力されている点は良いとの感想があった。

(2) 市民バス(のろっさ)の運行見直しについて 【資料2】

まず、市民バスの運行見直しスケジュールについて、昨年11月から利用者アンケートをはじめ各種調査に着手していること、今後、調査結果等を踏まえて、本年8月を目途に運行見直し案を取りまとめる計画であり、見直しは平成22年度の運行に反映をしていく方針であることの報告があ

った。

次に、市民バスの運行状況について、資料2 - ~ に基づき報告説明があった。市民バス（福祉バス含む）の利用人数については、平成19年度（95,532人）に対し平成20年度見込み（102,000人）と6%強の増加が見込まれている。ほかに、路線ごとの利用状況（1便当り乗車数、1人1回当り輸送コストなど）について資料に基づき報告説明があった。

次に、市民バス利用者アンケート調査の結果について、資料2 - に基づき報告説明があり、続けて「市民バス運行見直しの課題の整理（中間）」（資料2 - ）について説明があった。

【委員の主な意見】

利用者のことを考えると、低床バスの導入を進めることも考えてほしい。

路線バスと市民バスとの競合について、

- ・お互いうまくミックスする中で、無駄のないよう、考えてほしい。
- ・福祉バスを増やして欲しいという意見についても、市としてつめていく必要があるのではないか。
- ・運賃の不公平感の解消について、市街地の一定の範囲であれば、路線バスを市内均一料金ということも考えられるのではないか。

日曜日の運行について要望が多いが、日曜日に倍運賃にするアイデアもあり（都会に事例あり）。

利用促進は大事。新規利用をどう取り込むか。運行見直しの過程の中で、利用促進にもつながると良い。

アンケートの回答にもあるように、お買物コースの設定など、特定の利用目的に絞ったルートという考えもあるのでは。

そういう考えもあるが、コストが伴う。コストについて制約をかけたおかないと、サービスが広がりすぎて大変なことになる。コストの限界の中で、いかに利用者を増やすか、ということも大事。

前回の見直しで、乗る人の要望を調査し、改善を行った。今回の改善は、地方公共交通の活性化が大きな課題であり、福武線にどうつなげるかが重要なポイントのひとつ。郊外に居て、これまで乗っていなかった人で、福武線に乗りやすくなることでバスに乗るといった人があると思う。乗っていない人をどうやって乗せるか、そのために福武線

との連携は大切。

利用者が増えており順調な現状にあると思うので、採算性の問題もあるから、無理をする必要はない。若い人など乗ったことの無い人にかに乘ってもらうか、また、遠隔地の人に少しでも便利な市民バスであってほしい。

最後に、会長から「現在の利用者を不便にしないこと、路線バスや福武線の問題など公共交通全体を視野に見直しを図ってほしい」とのまとめがあり、見直しの方向性として「市民バス運行見直しの課題の整理（中間）」（資料2 - ）が確認された。

(3) 福井鉄道福武線について

【資料3】

1. 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基く鉄道事業再構築実施計画の認定について（資料3 - ） 2. 福井鉄道福武線の乗車人員（資料3 - ） 3. 福井鉄道福武線利用促進事業の状況（資料3 - ）に基づき報告があった。

【委員の主な意見】

利用者の拡大がポイント。アンケートで50%の人が「福武線を利用していない」との回答であった。いかに乘ってもらうか、地域に根差して、応援する会としては、イベントなどを取組みたい。

福井鉄道から、P & R 駐車場やイベント切符などの取り組みについての説明と、利用促進についての協力お願いがあった。

4 . 閉 会